平成25年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年12月11日

上場会社名　ウインテスト株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6721　URL　http://www.wintest.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 奈良　彰治
問合せ先責任者 (役職名) 取締役　(氏名) 麻生　実　TEL 045-317-7888

四半期報告書提出予定日　平成24年12月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年7月期第1四半期の業績(平成24年8月1日～平成24年10月31日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年7月期第1四半期	6	△76.3	△93	―	△93	―	△93	―
24年7月期第1四半期	28	△84.1	△101	―	△102	―	△99	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年7月期第1四半期	△1,905.38	―
24年7月期第1四半期	△2,019.35	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年7月期第1四半期	1,112	942	84.4	19,062.39
24年7月期	1,230	1,035	83.9	20,939.21

(参考) 自己資本　25年7月期第1四半期　939百万円　24年7月期　1,031百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年7月期	―	0.00	―	0.00	0.00
25年7月期	―				
25年7月期(予想)		0.00	―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 7月期の業績予想(平成24年 8月 1日～平成25年 7月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	57	△76.0	△186	―	△187	―	△187	―	△3,807.24
通期	―	―	―	―	―	―	―	―	―

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 有
④ 修正再表示 ： 無

＊詳細は、添付資料3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年7月期1Q	49,274 株	24年7月期	49,274 株
② 期末自己株式数	25年7月期1Q	― 株	24年7月期	― 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年7月期1Q	49,274 株	24年7月期1Q	49,274 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本業績予想は、現在入手可能な情報から、当社の経営者の判断に基づき作成しております。従いまして、本業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えられるようお願いいたします。また、実際の業績は、さまざまな要因により本業績予想とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況の概要等 …… 3
４．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
第１四半期累計期間 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）セグメント情報等 …… 7
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7
（６）重要な後発事象 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第１四半期累計期間における世界経済は、欧州の債務危機の長期化に伴う経済の低迷や、米国の景気回復の停滞、そして新興国の成長率の鈍化が鮮明となるなど、減速の傾向が強まりました。

国内の経済も、東日本大震災の復興関連需要等による内需に持ち直しの動きがみられたものの、世界的な景気の減速と円高の継続による輸出の不振が続き、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社が属する半導体並びにフラットパネルディスプレイ業界におきましては、スマートフォンやタブレット端末関連分野の設備投資には回復の兆候がみられましたが、その他の分野においては家電市場の低迷や、景気の先行きに対する懸念から設備投資は低調に推移し、前事業年度からの更なる延期がなされました。

このような厳しい経営環境のなか、当社は既存顧客のニーズに対応するとともに、新規顧客の開拓による半導体関連検査装置の拡販を積極的に推進するとともに、自社製品の開発、改善に取り組んで参りました。また、営業担当とエンジニアが一体化した営業組織により、迅速かつ的確な顧客ニーズへの対応に注力しました。

加えて、部品調達の効率化と調達先の選別、及び開発工程の見直しによる原価低減と固定費の削減を前期より継続し、過去最低レベルであった前事業年度を下回る経費水準を目指す諸施策を遂行し、営業損益の改善を図りました。なお、その一環として、当事業年度の役員報酬を一部カットするとともに、社員給与も削減いたしました。

これらの結果、当第１四半期累計期間の売上高は6,690千円（前年同期比76.3％減少）、営業損失93,278千円（前年同期は営業損失101,688千円）、経常損失93,552千円（前年同期は経常損失102,302千円）、四半期純損失93,885千円（前年同期は四半期純損失99,501千円）となりました。

（２）財政状態に関する定性情報

（資産）

当第１四半期累計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べ120,226千円減少し、1,020,297千円（前事業年度末比10.5％減）となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が151,523千円減少したことによるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べ2,896千円増加し、92,627千円（前事業年度末比3.2％増）となりました。この主な要因は、長期前払費用が24,159千円、「工具、器具及び備品」が2,643千円それぞれ減少したことと、保険積立金が28,851千円増加したことによるものです。

（負債）

流動負債は、前事業年度末に比べ20,201千円減少し、62,813千円（前事業年度末比24.3％減）となりました。この主な要因は、未払消費税が13,573千円減少したことによるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べ4,650千円減少し、107,583千円（前事業年度末比4.1％減）となりました。この主な要因は、長期借入金が4,617千円減少したことによるものです。

（純資産）

純資産は、前事業年度末に比べ92,478千円減少し、942,528千円（前事業年度末比8.9％減）となりました。この主な要因は、利益剰余金が93,885千円減少したことによるものです。

（３）業績予想に関する定性的情報

第２四半期累計期間ならびに通期の見通しにつきましては、当初計画しておりました案件数が予想を下回り、売上高ならびに利益の減少見通しがほぼ確定的となりましたため、平成24年９月11日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。

詳細は本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期会計期間より、平成24年８月１日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による影響はありません。

３．継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況の概要

当第１四半期累計期間におきましては、営業キャッシュ・フローは、税引前四半期純損失が93,552千円計上されたこと及び棚卸資産は24,176千円増加したものの、売上債権が151,523千円減少したこと等から、19,297千円のプラスとなりました。しかしながら、円高の継続及び欧州債務危機の長期化の影響を受け景気の減速傾向が強まり、顧客の設備投資が引き続き抑制されたこと等により、売上高は6,690千円と低調で、営業損失93,278千円を計上することになりました。当該状況により、当社には継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社はこうした状況を解消するため、以下の取組みを継続して実施しております。

顧客ニーズに対応した新検査装置や機能拡張オプションの開発、改善により、差別化した製品ラインアップを提供し、国内外で売上拡大及び新規顧客の開拓に向けた積極的な営業展開を推進しております。併せて部品調達先及び開発工程の見直しによる原価低減と過去最低レベルの経費水準を目指した大幅な固定費削減を実施し、営業損益の改善に努めております。また、営業担当とエンジニアが組織的にも一体化した営業推進体制は顧客の支持を得ており、さらに顧客満足度の向上に資する製品開発に注力し、厳しい経済環境下でありますが今後も顧客の取引シェアアップ及び海外を含めた新規顧客の獲得に取り組んでまいります。

その他、財務面におきましても必要十分な現預金を有していることに鑑み、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

４．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年７月31日）	当第１四半期会計期間 （平成24年10月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	432,413	442,895
受取手形及び売掛金	436,118	284,594
商品及び製品	26,023	39,013
仕掛品	227,732	238,918
原材料及び貯蔵品	2,163	2,163
その他	16,072	12,709
流動資産合計	1,140,524	1,020,297
固定資産		
有形固定資産		
建物	11,231	11,231
減価償却累計額	△3,629	△3,946
建物（純額）	7,601	7,284
車両運搬具	12,835	12,835
減価償却累計額	△12,282	△12,314
車両運搬具（純額）	552	520
工具、器具及び備品	157,522	157,522
減価償却累計額	△138,755	△141,399
工具、器具及び備品（純額）	18,766	16,123
有形固定資産合計	26,921	23,928
無形固定資産		
電話加入権	358	358
ソフトウエア	780	570
無形固定資産合計	1,139	929
投資その他の資産		
投資有価証券	17,519	18,926
敷金	14,135	14,135
長期前払費用	30,016	5,857
保険積立金	－	28,851
投資その他の資産合計	61,670	67,770
固定資産合計	89,730	92,627
資産合計	1,230,255	1,112,924

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年７月31日)	当第１四半期会計期間 (平成24年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,014	988
1年内返済予定の長期借入金	18,468	18,468
未払法人税等	3,513	1,726
賞与引当金	2,138	8,673
製品保証引当金	7,748	3,072
その他	48,132	29,885
流動負債合計	83,014	62,813
固定負債		
長期借入金	105,479	100,862
資産除去債務	5,508	5,529
その他	1,245	1,192
固定負債合計	112,233	107,583
負債合計	195,248	170,396
純資産の部		
株主資本		
資本金	997,101	997,101
資本剰余金	1,104,350	1,104,350
利益剰余金	△1,062,158	△1,156,044
株主資本合計	1,039,292	945,407
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7,534	△6,126
評価・換算差額等合計	△7,534	△6,126
新株予約権	3,247	3,247
純資産合計	1,035,006	942,528
負債純資産合計	1,230,255	1,112,924

（２）四半期損益計算書
（第１四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自　平成23年８月１日 至　平成23年10月31日）	当第１四半期累計期間 （自　平成24年８月１日 至　平成24年10月31日）
売上高	28,259	6,690
売上原価	21,303	2,265
売上総利益	6,955	4,425
販売費及び一般管理費	108,643	97,703
営業損失（△）	△101,688	△93,278
営業外収益		
受取利息	67	41
為替差益	110	101
保険解約返戻金	－	282
その他	39	1
営業外収益合計	217	427
営業外費用		
支払利息	612	541
支払手数料	201	160
その他	19	－
営業外費用合計	832	701
経常損失（△）	△102,302	△93,552
特別利益		
固定資産売却益	2,977	－
特別利益合計	2,977	－
税引前四半期純損失（△）	△99,325	△93,552
法人税、住民税及び事業税	245	387
法人税等調整額	△69	△53
法人税等合計	176	333
四半期純損失（△）	△99,501	△93,885

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

当社は、半導体検査装置の貸与、開発、設計、販売並びに技術サポートを事業内容とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（6）重要な後発事象

該当事項はありません。